2026年12月期（2026年度）
第3四半期 決算説明会

artience 株式会社

証券コード：4634

決算説明会 開催日：2026年11月20日

決算説明会資料 公開日：2026年11月19日

目次

- 資本効率と株主価値向上にむけた資本関係の発展的解消について
- 2026年度　第3四半期累計　連結業績概況
- 2026年度　第3四半期累計　事業セグメント別実績概況

（参考）　連結BS・PL概況
事業別・地域別セグメント実績
主な製品・用途

経営計画 artience2027/2030 “GROWTH”

〔目指す姿〕
心豊かな未来
持続可能な社会
企業価値最大化

	2023 12月期	2024 12月期	2025 12月期	2026 12月期	2029 12月期
売上高	3,221億円	3,511億円	3,500億円	3,600億円 ➡ **3,880億円**	5,000億円
営業利益	134億円	204億円	208億円	230億円 ➡ **260億円**	
営業利益率	4.2%	5.8%	5.9%	6.4% ➡ **6.7%**	
ROE	4.2%	7.3%	3.9%	8.0% ➡ **8.4%**※	10.0%以上

artience2027

2026年11月13日目標値更新

事業ポートフォリオの変革

資本効率と キャッシュフローの最大化

企業基盤構築と サステナビリティ経営実践

高収益既存事業群への変革

- 成長事業の拡大
- 収益基盤事業の利益向上
- 不採算事業整理 戦略再構築

戦略的重点事業群の創出

- モビリティ・バッテリー
- ディスプレイ・先端エレクトロニクス
- 次世代事業（環境・バイオ・エネルギー）

経営基盤の変革

- **ヒト/風土/組織** エンゲージメント DE＆I
- **カネ** CFマネジメント 資本効率化
- **モノづくり** asv2050/2030 SCM
- **情報/DX** デジタル変革 SAPの最大活用
- **技術/知的財産** 技術基盤構築 攻めの知財活用

※ 2026年度純利益予想（190億円）および期末自己資本見込から自己株式取得額（上限約460億円）を控除した当社試算値。

資本関係の発展的解消（１） 自己資本の最適化と株主価値の向上

■ TOPPANホールディングス株式会社（以下、TOPPAN）との資本関係の解消を契機に、市場流動性の制約下では難しかった大規模な自己株式取得・消却を決定。

資本関係の発展的解消の3つのねらい

01 資本効率の向上

自己資本を
約460億円圧縮
（約2,700億円→約2,200億円規模 ※1）

参考ROE：
8.4%

02 EPS向上・株主還元の強化

参考EPS ※2　405円 → **521円**

03 ガバナンス・独立性の向上

株式保有という枠組みに依存することなく、経営の独立性と流通株式比率のさらなる向上を図る。

実行する施策：自己株式の公開買付と消却

取得上限
約460億円
買付予定数 1,050万株

消却予定
900万株
発行済株式総数の19.03%

TOPPANの当社株式保有の変化

取得前



TOPPAN 22.28%

→

取得後（予定）

保有解消予定

TOPPANとは
「**真のビジネスパートナー**」として
協力関係を維持・発展

決済開始：2027年1月7日
消却予定：2027年3月31日

※1 2026年度末の自己資本見込（試算ベース）および自己株式取得額（上限約460億円）控除後の規模感を示す試算イメージ。
※2 2026年度純利益予想（190億円）をベースに、自己株式取得（上限1,050万株）後を仮定した当社試算値（取得前は2026年9月末の自己株式控除後株式数で算出）。

資本関係の発展的解消（２） 株式売却を組み合わせた資金計画

■ 保有株式の売却資金を借入金返済に充当し、実質的な資金負担を抑えながら財務健全性と成長投資を両立。

実質的な資金負担のイメージ（ネット影響額）

TOB所要資金
約460億円
取得代金・諸費用を含む

－

投資有価証券の売却額（税引等考慮後）
約210億円※1

＝

実質的な資金負担のイメージ
約250億円

※試算上の収支イメージであり、実際の借入残高・純有利子負債の増加額を示すものではありません。

財務健全性を維持

A格維持に向けた財務規律を堅持。

ネットD/Eレシオ ※2
0.1倍（2026年9月末）→ 0.3倍（試算値）

成長投資・効率化投資を継続

目標水準：2029年度 ROE 10.0%以上の達成へ
資本配分：成長・効率化投資への十分な余力を確保

※1 300億円相当の投資有価証券売却決議に基づく税引等考慮後の試算値（約210億円）。当社保有TOPPAN株式は2026～2027年度に段階的に売却（2026年度は700万株完了見込）し、他銘柄も含む。売却時期・価格・税金等により変動。
※2 一時的な決済資金として借入枠（上限625億円）を設定。試算値は2026年11月以降の投資有価証券売却収入による返済および自己株式取得後の2026年度末自己資本見込をベースに算出。

2026年度 第3四半期累計
連結業績概況

連結業績 概況

（億円）

	25年度 第3四半期累計実績	26年度 第3四半期累計実績	増減率(%)
売上高	2,584	2,905	12.4
営業利益	149	204	36.8
経常利益	145	219	51.8
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	97	94	▲2.4
営業利益率	5.8%	7.0%	+1.2 (point)
海外売上高比率	55.0%	56.4%	+1.4 (point)

≪為替およびナフサの実績≫

		25年度 Q3累計平均	26年度 Q3累計平均
為替	1 USD	￥147.8	￥158.8
	1 EUR	￥165.6	￥184.2
	1 RMB	￥20.5	￥23.3

		25年度 Q3累計平均	26年度 Q3累計平均
原料	ナフサ(/KL)	¥67,633	¥94,700

減損損失の計上

- EVの市況が芳しくなく、リチウムイオン電池用の**CNT分散体**の出荷は低調。欧州・日本で立ち上がり時期が後ろ倒しとなり、計画の見直し行った。
- トルコでは、主に**リキッドインキ**の製造・販売を行っている連結子会社の、25年4月に稼働した新工場において、営業損益の悪化により、減損の認識が必要となった。

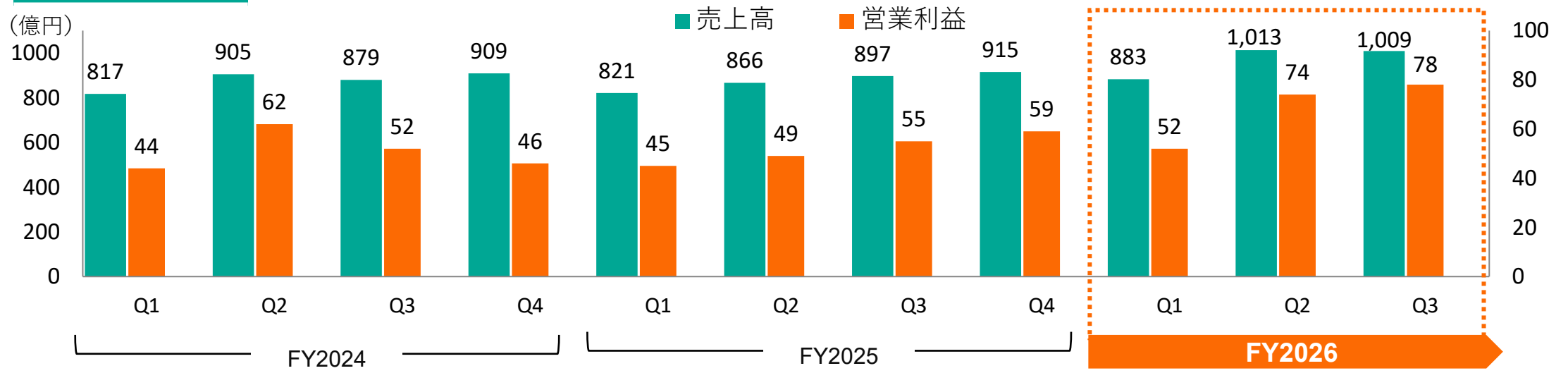
対象拠点	主なセグメント / 事業	金額	主な要因
ハンガリー	色材･機能材 / CNT分散体	47億円	政権交代に伴う、新規顧客の稼働規模の縮小や立ち上げ遅れ。
日本（富士）	色材･機能材 / CNT分散体	19億円	見込み顧客の計画中止に伴う生産体制の変更。
トルコ	パッケージ / リキッドインキ	26億円	原材料やエネルギーコスト上昇に伴う営業損益の悪化。
合計		92億円	

注）CNT：カーボンナノチューブ

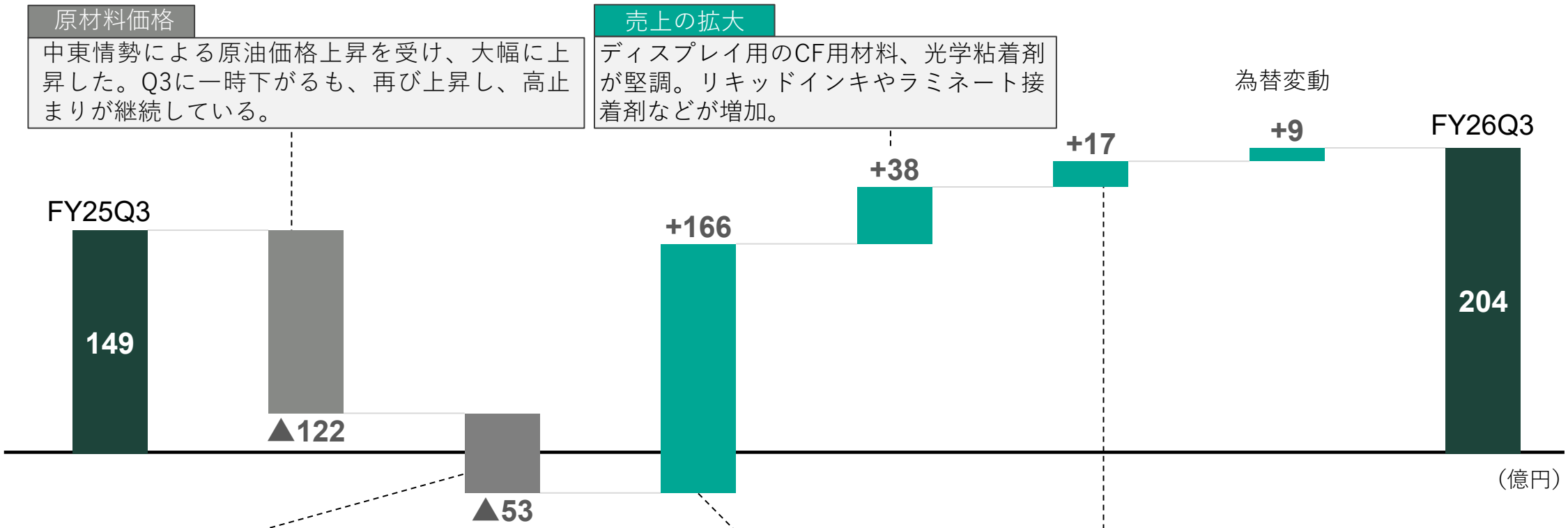
連結業績サマリー

■上半期に引き続き、第3四半期累計でも、全事業セグメントにおいて増収増益を達成。

売上	海外のパッケージ用途のリキッドインキやラミネート接着剤は、数量増により売上も20%増となった。
営業利益	大型ディスプレイ向けのCF用材料や光学用粘着剤などが堅調に推移した。パッケージ向けのリキッドインキやラミネート接着剤が、中東紛争の影響により在庫確保が進み数量が増加、海外のサプライチェーンを活かした安定調達と、価格改定効果もあり、対前年を大幅に上回った。足元では、反動で海外を中心に数量の伸びは鈍化傾向。
経常利益	為替差損が円安により前期と比較し減少。トルコでの高インフレ継続による資産価値調整で利得を計上。
親会社株主に帰属する四半期純利益	**有価証券売却益**51億円を計上したが、LiB用のCNT分散体事業の立ち上げ遅れ、およびトルコにおける採算性悪化により、92億円の**減損損失**を計上し、94億円（▲2.4%）となった。



営業利益の増減要因分析



原材料価格

中東情勢による原油価格上昇を受け、大幅に上昇した。Q3に一時下がるも、再び上昇し、高止まりが継続している。

売上の拡大

ディスプレイ用のCF用材料、光学粘着剤が堅調。リキッドインキやラミネート接着剤などが増加。

費用増

インフレにより、トルコ、インドなどを中心に全般的に人件費や運搬費などの諸経費が増加した。

価格改定

原材料価格の上昇や各種費用の増加を受け、供給を安定化させながら、国内外で価格改定を実施した。

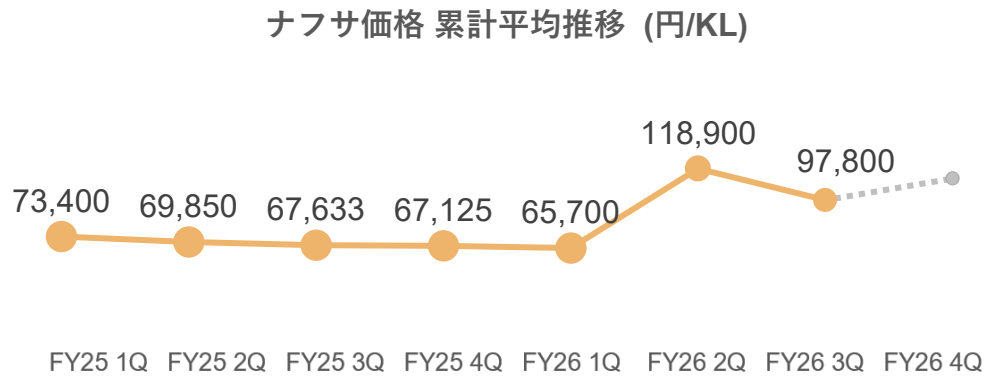
コストダウン

国内外の拠点において、原材料の代替、生産プロセスの見直しを継続させた。

外部環境変化・原材料市況

- ナフサ価格平均は、7月に一旦落ちついたものの、中東での緊張の高まりにより**再上昇**となっている。
  2026年3Qは¥97,800/KLであった。2026年4Qは¥105,000/KL～¥110,000/KL前後を見込む。
- 調達先の多様化、サプライヤーや顧客との協働により、**安定調達**を実現し、価格改定への理解を得た。
- 原材料価格上昇の影響額は、8月時点の約170億円の見込みから、仕入れ商品や非ナフサ由来の原料上昇なども加味し**約190億円**と見込むが、価格改定とコストダウンにより吸収していく。

（参考情報）**ナフサ価格感応度**：1,000円/KLの上昇で、約1.5億円のコスト増。業績への影響は、状況に応じて変動。





2026年度 通期業績予想

■ 市況動向は不透明なものの、足元の堅調な業績を反映し、通期業績予想のうち、売上高、営業利益、経常利益を上方修正する。第4四半期には追加の保有株式の売却益を見込むのの、減損損失を計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は下方修正。配当予想は据え置き、前年同期比で増収増益を見込む。

（億円）

	25年度 実績	期初 通期業績予想	11/13修正後通期業績予想
売上高	3,500	3,600	3,880
営業利益	208	230	260
経常利益	209	225	275
親会社株主に帰属する当期純利益	103	210	190

営業利益率	5.9%	6.4%	6.7%
ROE	3.9%	8.0%	8.4%※

■ 計画の前提となる指標と実績

		25年度 平均	26年度 期初前提
為替	1 USD	￥149.8	¥150.0
	1 EUR	￥169.5	¥170.0
	1 RMB	￥20.9	¥20.0

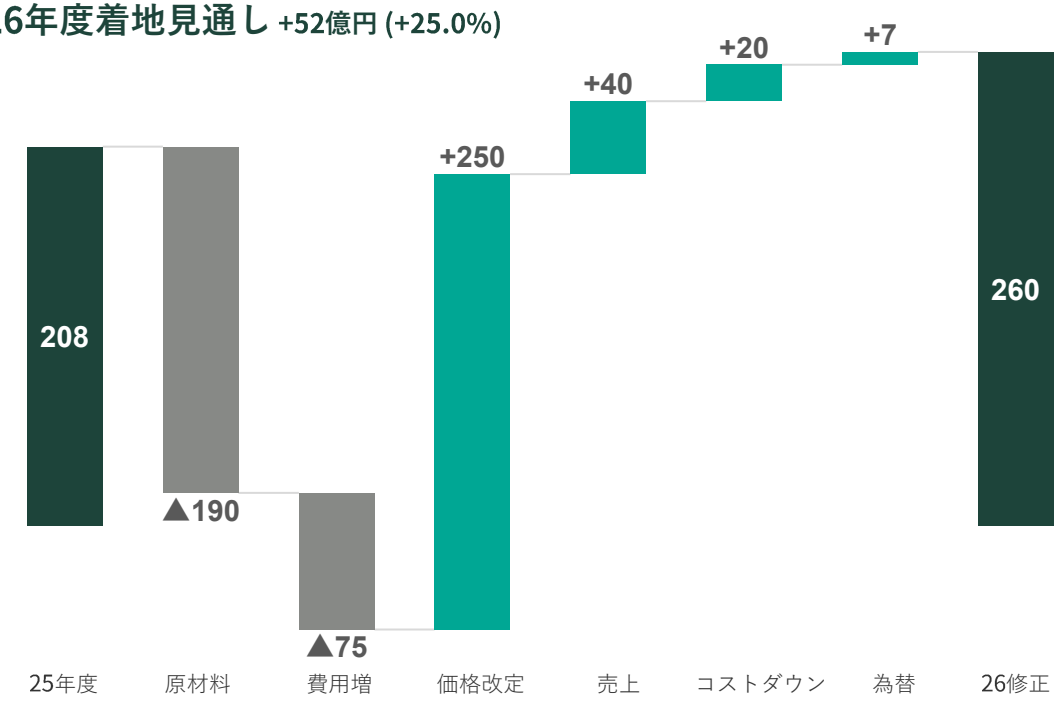
原料	25年度 平均	26年度 期初前提	26年度 9 月	26年度 Q 3 累計 平均
ナフサ(/KL)	¥67,125	¥65,000	¥100,568	¥94,700

※ 2026年度純利益予想（190億円）および期末自己資本見込から自己株式取得額（上限約460億円）を控除した当社試算値。

2026年度 通期営業利益見通しおよび修正要因

急激な原材料高騰や費用の増加に対し、価格改定により吸収し、売り上げ拡大とコストダウンにより前年同期比＋52億円の増益見通し。
期初計画（230億円）に対しても、環境変化への対応を反映し＋30億円上方修正。

26年度着地見通し +52億円 (+25.0%)



【26年度通期着地の見通し】
・中東情勢に関連するナフサ高騰等の原材料負担増（▲190億円）およびインフレに伴う諸経費や新設備稼働による償却費増（▲75億円）。
・国内外での価格改定（＋250億円）およびディスプレイ向けのCF材料・光学用粘着剤や、リキッドインキ・ラミネート接着剤の拡販、コストダウン効果により、前年同期比で＋52億円。

期初からの前提変化と修正要因 +30億円 上方修正

（億円）

項目	期初想定	修正予想	差額	主な前提変化や対応
原材料価格・費用増（コスト増）	▲39	▲265	▲226	**原材料および各種費用増**
（内）原材料価格	+4	▲190	▲194	ナフサ・銀等の急騰
（内）費用増（人件費・物流・償却等）	▲43	▲75	▲32	インフレに伴う全般的な費用増
価格改定	+13	**+250**	**+237**	コスト急騰に対する価格改定
売上拡大	+33	**+40**	+7	CF材料・光学粘着剤等の拡販進展
コストダウン	+15	**+20**	+5	生産プロセス見直し等の効率化
為替	+0	**+7**	+7	為替レート前提の修正影響
営業利益	**230**	**260**	**+30**	**期初計画比 +30億円 上方修正**

【業績予想修正の総括】
・原材料高騰および諸経費増加によるコスト負担（計▲265億円）に対し、価格改定（+250億円）を機動的に実施。
・高付加価値品の拡販（+40億円）、生産プロセス効率化・コストダウン効果、為替の前提変化が上方修正に寄与。

2026年度 第3四半期
事業セグメント別実績概況

事業セグメント別実績および通期業績予想

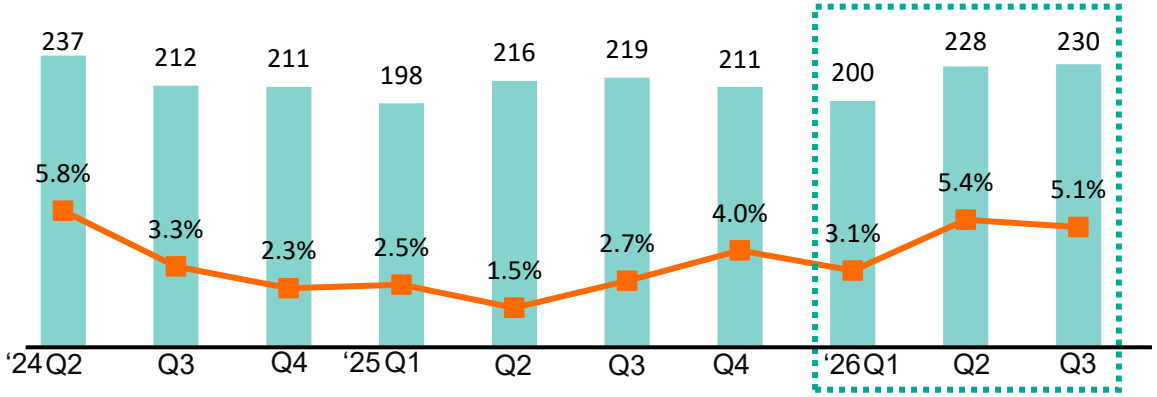
（億円）

	25年度 第3四半期累計実績		26年度 第3四半期累計実績		26年度 期初計画		26年度 11/13修正後通期業績予想	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・機能材	632	14	657	30	850	35	860	35
ポリマー・塗加工	668	59	771	77	950	90	1,040	105
パッケージ	676	39	799	59	960	60	1,080	75
印刷・情報	596	32	662	37	820	50	880	50
その他・調整	13	4	16	0	20	▲5	20	▲5
連結	2,584	149	2,905	204	3,600	230	3,880	260

色材・機能材関連事業

■**売上/営業利益**　増収増益。CF用材料は、センサー用途含め引き続き堅調、着色剤も国内外で収益改善続く。

実績	25年度 第3四半期累計 実績	26年度 第3四半期累計 実績	YonY 増減率(%)
売上	632	657	3.9
営業利益	14	30	117.1



四半期売上・営業利益率推移 (億円)

	YonY売上増減	概況
CF用材料	10.0%	大型パネル向けは、3Qに入り国内顧客の生産終了による減速がみられるものの、年末に向けては安定した推移を見込む。センサー用途も、一部メモリ不足の影響はあるも年末に向けて堅調な推移を見込む。
着色剤	▲8.2%	東南アジアは取引形態の変更で減収も、家電、自動車向けは堅調で実質的には増収。北米の自動車向け需要も堅調に推移した。国内は3Qに入り、一部中東情勢の反動による生産調整なども見られたが、コストダウンや価格改定を着実に進め、利益を確保した。
顔料	24.1%	輸入原料やエネルギーコストの上昇も、コストダウン等により増益を確保。
その他	20.1%	インクジェットは、顧客での在庫調整が終わり、3Qに向けて回復。LiB用CNT分散体は低調が続く。機能性分散体など、新しい材料の立ち上げに進捗。

モビリティ・バッテリー関連事業：LiB用CNT分散体

■拠点別概況と今後の見通し：中国大手向けで数量が増加も、市場環境の回復は鈍く、生産体制の再編へ。

欧州（ハンガリー）
- 顧客数2。数量は累計で前年を上回るも、4Qは低調な見込み。25年末に続き減損損失を計上。
- 2社目向けの製品供給は、政権交代に伴う遅れもあり、現地生産開始時期を精査中。

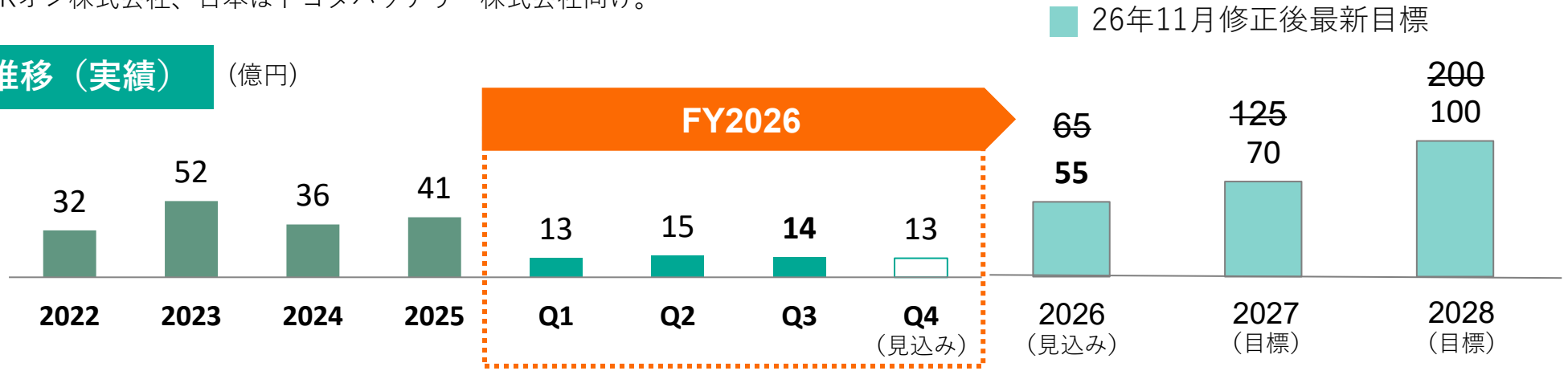
米国（GA州,KY州）
- 顧客数2*。 ハイブリッドの販売は大幅伸長も、BEV・PHEVの停滞は継続。
- ESS向けの評価は継続中。

中国（珠海）
- 顧客数1。Q3累計で、数量は大幅に増加となった。
- 負極向け材料は顧客での評価が継続中。28年からの量産化を目指す。

日本（富士）
- 顧客数1*。HEV向けのCNT分散体は順調に出荷が継続している。新たに減損損失を計上。
- 全固体向けの開発も複数社向けに進む。

＊米国はSKオン株式会社、日本はトヨタバッテリー株式会社向け。

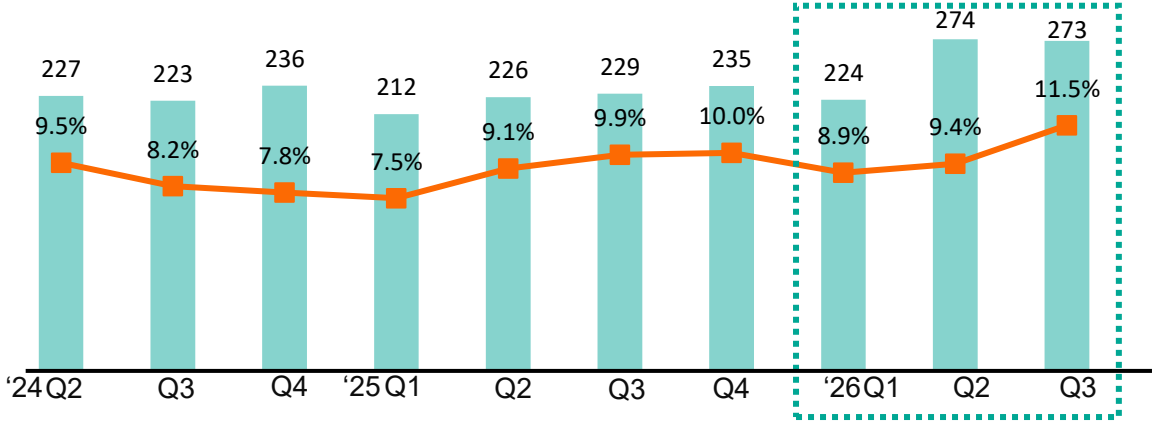
売上推移（実績）（億円）



ポリマー・塗加工関連事業

■**売上/営業利益**　増収増益。遅れていた国内の価格改定が進展、海外の光学用粘着剤が伸長。

実績	25年度 第3四半期累計 実績	26年度 第3四半期累計 実績	YonY 増減率(%)
売上	668	771	15.5
営業利益	59	77	30.4



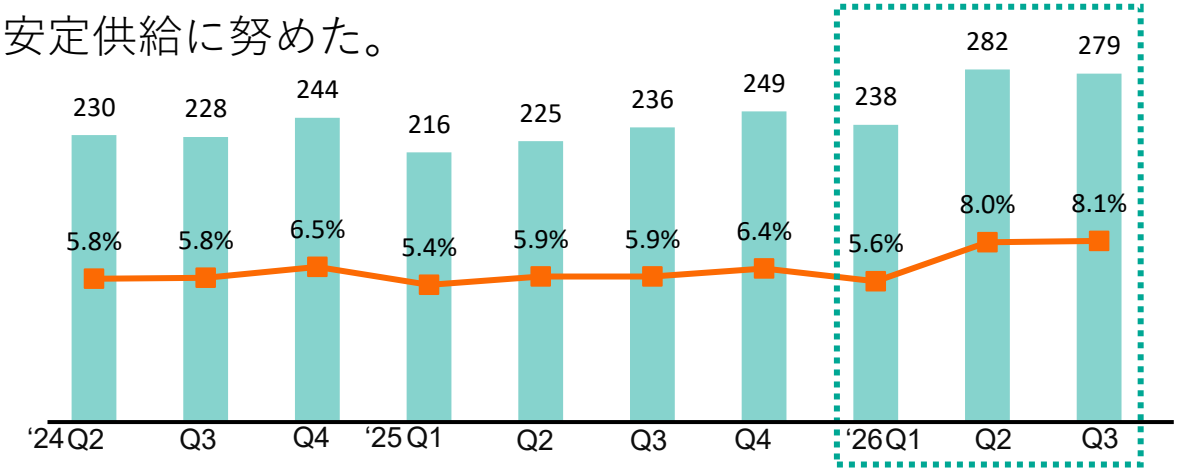
四半期売上・営業利益率推移　(億円)

	YonY売上増減	概況
塗工材料	13.7%	モバイル向けの機能性フィルムはQ3がピーク。銀サーチャージ制により、対前年では利益額が増加。半導体絶縁材用のリオテラン®も引き続き堅調。
接着剤	18.5%	粘着剤は、中韓でディスプレイ向け光学用が堅調。インド・グジャラートの新設備は7月より本格稼働。ラミネート接着剤は、国内での供給安定化と価格改定、タイのハイエンド向けの堅調さ、マレーシアでのコストダウンなどにより増益。電池用は海外で堅調に推移。
塗料樹脂	11.1%	製缶塗料は、Q3に入り原材料高騰分の価格転嫁が国内で進んだ。タイでは、飲料缶用新規拡販が寄与、食缶も堅調に推移。トルコでは、品質トラブルからの回復に遅れがみられる。

パッケージ関連事業

■**売上/営業利益**　増収増益。原材料の確保により、安定供給に努めた。

実績	25年度 第3四半期累計 実績	26年度 第3四半期累計 実績	YonY 増減率(%)
売上	676	799	18.2
営業利益	39	59	51.0



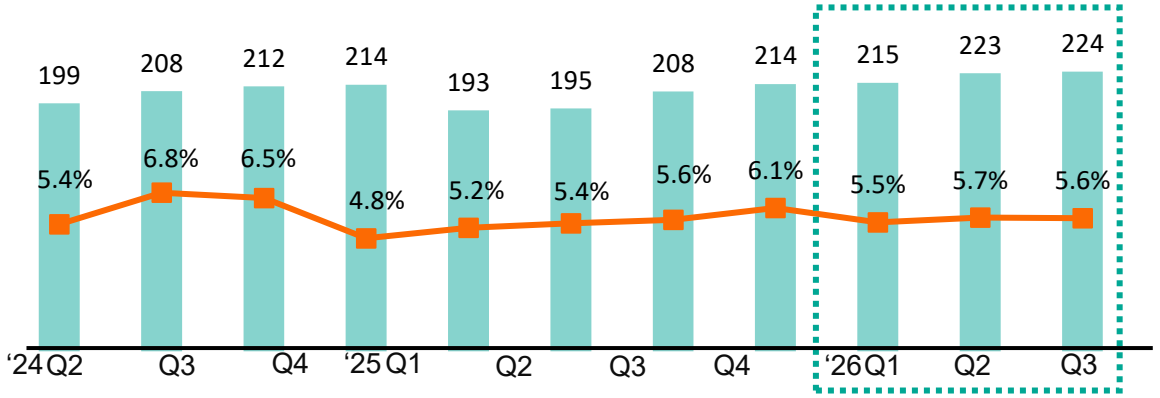
四半期売上・営業利益率推移 (億円)

	YonY売上増減	概況
国内リキッドインキ	15.5%	パッケージ用は、中東情勢を受けた原材料確保による顧客への安定供給に努めるとともに、迅速な価格改定を進め堅調に推移。前倒し需要や食品価格上昇に伴う反動減の影響も軽微にとどまった。品種統合、コストダウン、生産効率化に加え、海外グループ会社からのライセンス料の増加もあり、増益。
海外リキッドインキ	25.9%	数量は10%以上の増加を継続。インドでは、原材料価格や各種コストの上昇に対する価格転嫁に遅れがみられる一方、中国では販売拠点統合の効果により増益。

印刷・情報関連事業

■**売上/営業利益**　増収増益。中東情勢の反動減がみられるものの、UVインキ中心に好調に推移した。

実績	25年度 第3四半期累計 実績	26年度 第3四半期累計 実績	YonY 増減率(%)
売上	596	662	11.1
営業利益	32	37	15.0



四半期売上・営業利益率推移 (億円)

	YonY売上増減	概況
オフセットインキ （一般インキ）	8.0%	国内のチラシ・カタログ関連向けは市場縮小が継続する中、構造改革を進めるも低調。海外は前年同期比で堅調に推移。インドでは拡販を進める一方、原材料費高騰やコスト増加による価格改定に遅れがみられた。
機能性インキ※	14.6%	国内のUVインキは、カード・ラベル向けが好調。海外では北米で拡販が進み、タイ・中国も堅調に推移。一方、欧州では競争激化が継続。高級紙器向けの機能性コーティング剤も堅調に推移。

※機能性インキ：UVインキ、金属インキ、スクリーンインキ

■ IRに関するご質問・お問い合わせ先　ir@artiencegroup.com

■ ウェブサイト　https://www.artiencegroup.com

■ 主要ニュースリリース

- artience、京橋本社29階ロビーにて現代美術家・舘鼻則孝氏との共創作品を展示・一般公開（2026年10月30日）
  https://www.artiencegroup.com/ja/news/2026/26103001.html
- artienceグループ マレーシア拠点が食品包装用水性コーティング剤の製造でHACCP認証を取得（2026年10月29日）
  https://www.artiencegroup.com/ja/news/2026/26102901.html
- artienceグループ インド拠点の環境調和型水性グラビアインキと水性フレキソインキが「IFCAスターアワード2026」のインキ革新部門で受賞（2026年10月21日）
  https://www.artiencegroup.com/ja/news/2026/26102101.html
- artienceとＤＩＣ、業界初となるフィルムパッケージのリサイクル評価に関する業界共通プロトコルを策定（2026年10月7日）
  https://www.artiencegroup.com/ja/news/2026/26100701.html

■ IRスケジュール（予定）　※都合により予告なく変更する場合がございます

- FY2026Q4：決算発表（2月15日）、決算説明会（2月19日）

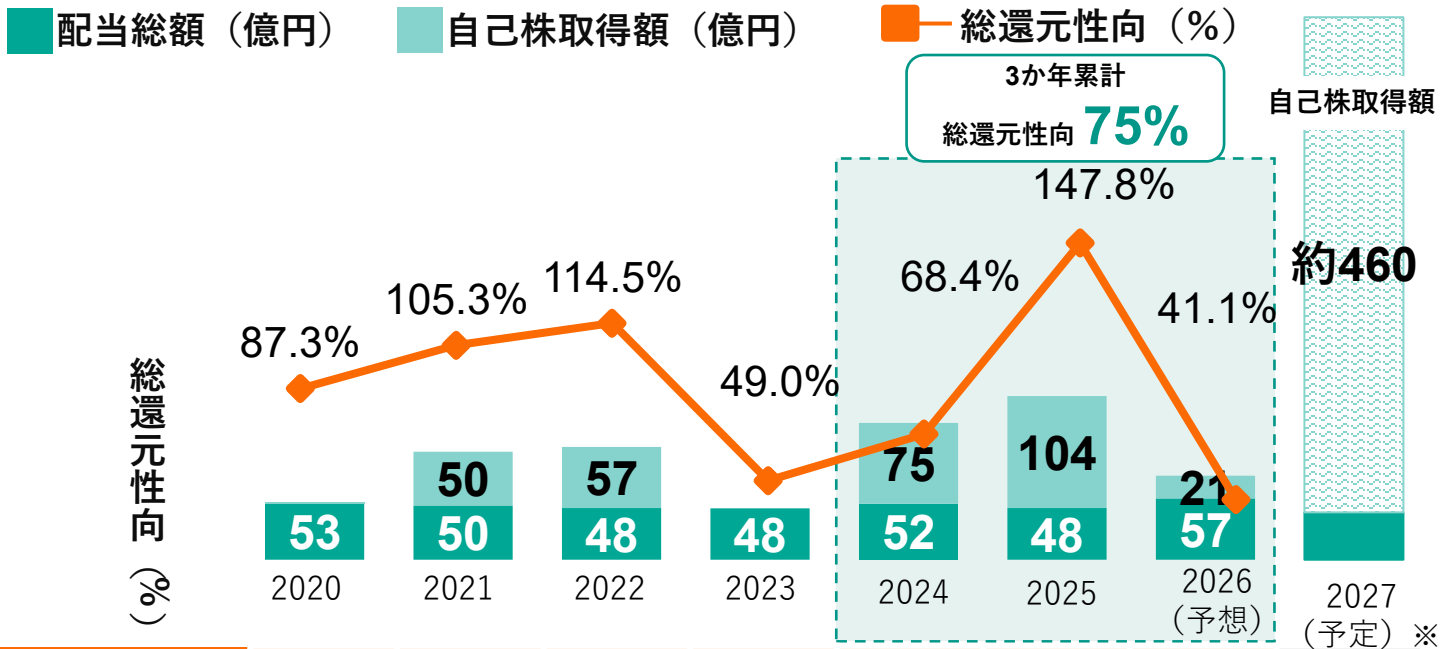
参考資料

中期経営計画artience2027 株主還元方針

■ 利益成長を背景に、増配および自己株式取得の実施により株主還元を一層強化。

2024～2026年度（3か年）の還元方針

- 安定配当を基本としつつ、利益達成時のキャッシュの余剰を戦略投資および自社株取得等の株主還元増へ充当する
- 総還元性向50%以上とする



	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026（予想）	2027（予定）※
1株あたり年間配当金（円）	90	90	90	90	100	100	120	-
親会社株主に帰属する当期純利益（億円）	60	95	93	97	185	103	190	-

※ 2027年1月7日決済予定の自己株式公開買付け（取得上限額ベース）を記載。FY2027の配当および業績予想は未定。

連結PL・BS概況

（単位：億円）

	25年度第3四半期累計実績	26年度第3四半期累計実績	増減率(%)	2026年12月期通期予想
売上高	2,584	2,905	12.4	3,880
営業利益	149	204	36.8	260
経常利益	145	219	51.8	275
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	97	94	▲2.4	190
営業利益率	5.8%	7.0%	＋1.2 (point)	6.7%
海外売上高比率	55.0%	56.4%	＋1.4 (point)	

（単位：億円）

	2025年12月末	2026年9月末	増減率(%)
流動資産	2,277	2,391	5.0
固定資産	2,349	2,252	▲4.1
資産合計	4,626	4,643	0.4
流動負債	1,061	1,088	2.6
固定負債	793	743	▲6.3
負債合計	1,854	1,831	▲1.2
純資産合計	2,772	2,812	1.4
負債純資産合計	4,626	4,643	0.4

	2025年12月末	2026年9月末
有利子負債(億円)	667	643
自己資本比率(%)	57.5	58.0
D/Eレシオ	0.32	0.30

2026年12月期	中間	期末（予想）
配当（円/株）	60	60

	2025年12月末	2026年9月末
連結子会社数	56	56
持分法適用会社数	5	5

事業別セグメント実績

		2026年12月期 第3四半期（3か月）実績（億円）		増減率 前年同期比較（%）		増減率 2026年12月期 第2四半期比較（%）		当期累計実績（億円）		増減率 前年同期比較（%）	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・機能材	日本	106	2	15.3	-	▲ 4.6	▲ 58.3	317	13	10.9	-
	海外	176	7	8.5	223.5	3.7	▲ 10.9	490	15	5.4	153.7
	合計	230	12	5.1	99.7	0.8	▲ 5.3	657	30	3.9	117.1
ポリマー・塗加工	日本	157	12	13.9	74.6	▲ 2.5	24.7	456	28	10.6	76.7
	海外	150	19	23.6	20.7	3.5	20.1	418	51	21.6	17.6
	合計	273	31	18.9	38.8	▲ 0.5	21.8	771	77	15.5	30.4
パッケージ	日本	142	16	16.8	123.8	▲ 1.3	3.1	405	39	12.8	107.7
	海外	145	7	21.3	▲ 0.7	▲ 1.3	▲ 10.1	418	20	25.4	▲ 1.4
	合計	279	23	18.4	62.3	▲ 1.2	▲ 0.2	799	59	18.2	51.0
印刷・情報	日本	107	6	5.6	18.7	2.0	28.9	313	16	5.9	35.0
	海外	136	8	10.6	20.4	0.9	▲ 8.0	401	24	15.8	13.4
	合計	224	13	7.7	8.9	0.6	0.1	662	37	11.1	15.0
その他		17	▲ 1	18.4	-	▲ 14.6	-	53	▲ 0	32.0	-
調整		▲ 14	1	-	-	-	-	▲ 38	1	-	-
連結		1,009	78	12.5	41.4	▲ 0.4	5.6	2,905	204	12.4	36.8

（注）事業セグメントの日本・海外の実績には地域間消去を考慮していません。

事業別セグメント実績（四半期推移）

（単位：億円）

		FY2024		FY2025								FY2026					
		Q4		Q1		Q2		Q3		Q4		Q1		Q2		Q3	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・機能材	日本	114	5	90	▲ 1	103	2	92	0	110	5	99	5	111	6	106	2
	海外	157	4	144	0	159	4	162	2	155	8	145	1	169	8	176	7
	合計	211	5	198	5	216	3	219	6	211	9	200	6	228	12	230	12
ポリマー・塗加工	日本	145	4	133	3	142	6	138	7	139	5	139	7	161	9	157	12
	海外	120	13	109	13	113	14	122	16	126	18	122	16	145	16	150	19
	合計	236	18	212	16	226	21	229	23	235	24	224	20	274	26	273	31
パッケージ	日本	126	9	116	6	121	6	122	7	124	8	118	8	144	16	142	16
	海外	124	7	104	6	109	7	120	7	131	8	125	6	147	7	145	7
	合計	244	16	216	12	225	13	236	14	249	16	238	13	282	23	279	23
印刷・情報	日本	107	4	94	3	101	4	101	5	111	7	102	5	105	4	107	6
	海外	119	6	114	7	110	7	123	7	119	6	131	6	135	9	136	8
	合計	214	10	193	10	195	11	208	12	214	13	215	12	223	13	224	13
その他		16	▲ 3	12	2	14	1	14	1	17	▲ 1	17	0	20	0	17	▲ 1
調整		▲ 11	▲ 0	▲ 10	0	▲ 9	0	▲ 9	▲ 0	▲ 10	▲ 1	▲ 11	0	▲ 14	▲ 0	▲ 14	1
連結		909	46	821	45	866	49	897	55	915	59	883	52	1,013	74	1,009	78

（注）事業セグメントの日本・海外の実績には地域間消去を考慮していません。

所在地別セグメント実績

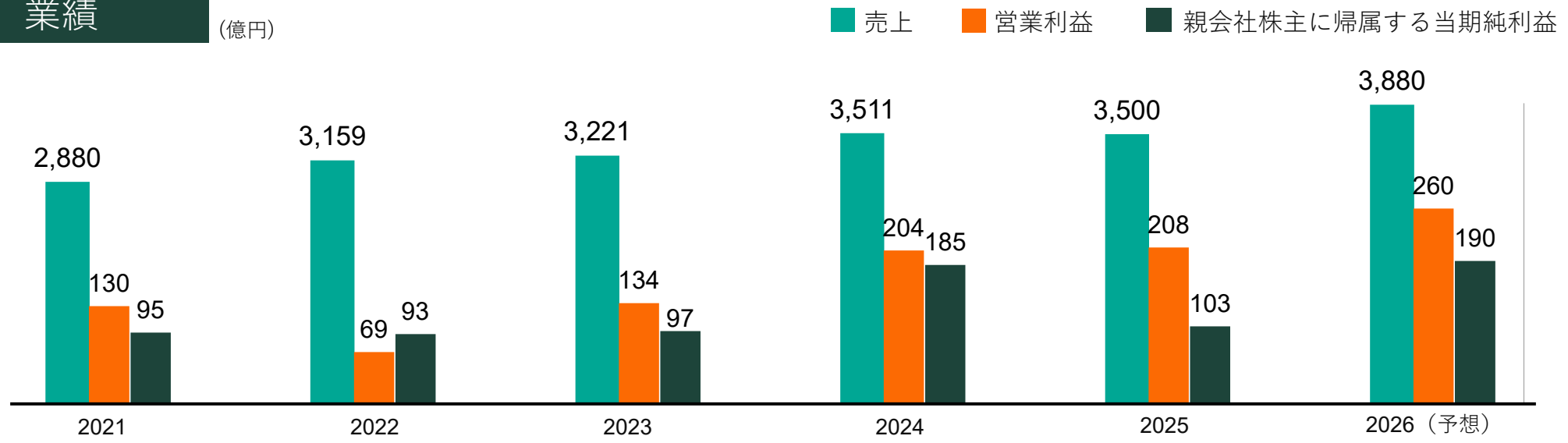
当期実績	2026年度 第3四半期（3か月）実績(億円)		増減率 前年同期比較(%)		増減率 2026年12月期 第2四半期比較(%)		当期累計実績(億円)		増減率 前年同期比較(%)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	528	35	13.1	74.2	▲ 1.8	0.1	1,539	95	10.6	84.5
アジア	439	37	15.9	32.5	1.1	▲ 3.1	1,239	105	15.3	35.6
ヨーロッパ	93	▲ 3	8.2	-	▲ 0.9	-	279	▲ 11	19.8	-
北米・中南米	73	7	20.3	104.6	6.0	26.4	208	17	16.8	53.3
調整	▲ 125	2	-	▲ 39.9	-	-	▲ 359	▲ 2	-	-
連結	1,009	78	12.5	41.4	▲ 0.4	5.6	2,905	204	12.4	36.8

（参考）昨年度実績(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		合計	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	444	12	480	20	467	20	501	23	1,892	75
アジア	343	23	353	26	378	28	370	31	1,444	108
ヨーロッパ	67	▲1	80	3	86	0	100	3	333	5
北米・中南米	60	4	57	4	61	3	59	6	237	16
調整	▲91	6	▲105	▲3	▲96	3	▲ 114	▲ 4	▲ 406	3
連結	**821**	**45**	**866**	**49**	**897**	**55**	**915**	**59**	**3,500**	**208**

（注）各所在地の金額は、地域間の取引および全社的な費用を控除していません。

業績

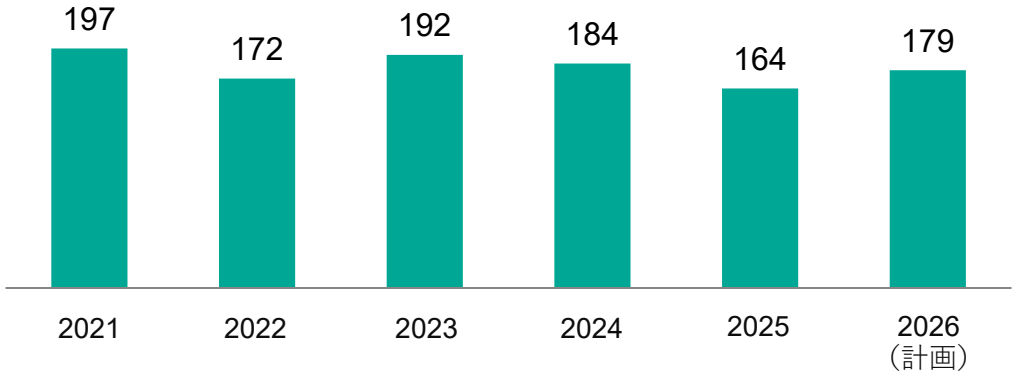
（億円）



設備投資

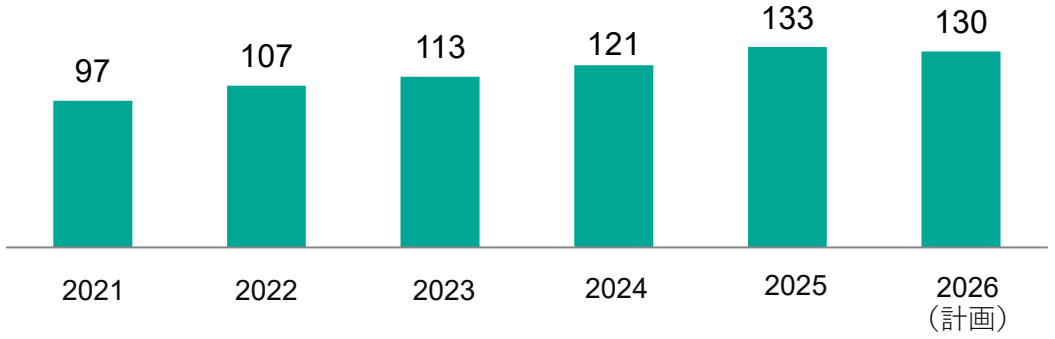
（億円）

※設備投資：実績は検収ベース、計画は発注ベース



減価償却

（億円）



色材・機能材　サブセグメント

サブセグメント		主な製品	主な用途	
CF材料	高機能化成品	高機能顔料 CFペースト	CFペースト レジストインキ	
	表示材料	レジストインキ	ディスプレイ、センサー	
汎用化成品		顔料、顔料分散体	印刷インキ、自動車塗料	
プラスチック着色剤		マスターバッチ コンパウンド	容器、自動車、家電OA、建材	
その他		インクジェットインキ 電池用分散体	看板広告・ラベル・段ボール リチウムイオン電池	

ポリマー・塗加工　サブセグメント

サブセグメント	主な製品	主な用途	
塗工材料	接着テープ、機能性フィルム	スマートフォン	
	マーキングフィルム	看板	
接着剤	粘着剤	ラベル、ディスプレイ、自動車、工業材	
	ラミネート接着剤	フィルム包材、リチウムイオン電池、太陽電池	
	ホットメルト	製本、PETボトル胴巻きラベル	
塗料樹脂	製缶塗料	飲料缶、食缶	
	樹脂、ハードコート	印刷インキ、建築塗料、ディスプレイ	
その他	メディカル	貼付型医薬品	
	天然材料	飼料、食品	

パッケージ、印刷・情報　サブセグメント

	サブセグメント	主な製品	主な用途	
パッケージ	リキッドインキ	グラビアインキ、 フレキソインキ	フィルム包材（食品パッケージ、 日用品詰め替え） 建材 サニタリー、段ボール、紙袋	
	グラビア機器・製版	グラビア機器、製販		
印刷・情報	オフセットインキ （一般インキ）	オフセットインキ、 新聞インキ	書籍、新聞、チラシ、紙器	
	機能性インキ	UVインキ	紙器、ラベル、カード、書籍	
		金属インキ	飲料缶、食缶	
		スクリーンインキ	エレクトロニクス、ステッカー	
	印刷材料・機器	オフセット印刷材料、 印刷検査装置		

注意事項

当社グループによる開示情報には、業績予想や将来予測に関する情報が含まれる場合があります。これらの情報は、開示時点で入手可能な情報および合理的であると当社グループが判断する一定の前提に基づくものであり、さまざまなリスク要因や不確実な要素により、実際の結果と異なる可能性があります。
当社グループによる開示情報は、ステークホルダーに当社グループへの理解を深めていただくための情報提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものではありません。当社グループによる開示情報に関連して発生した金銭的あるいは非金銭的な損害に対しては、当社グループは一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

表記の金額は億円未満について四捨五入しております。